

授業改善推進中期プラン 国語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立玉川小学校

学年等	項目	内容
令和4年度 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」 ▲必要なことが何かを考え、大事な言葉をメモを取りながら聞くことに課題がある。 ・「書くこと」 ▲文章を書くことへの関心が高い児童と、低い児童に極化している。 ・「読むこと」 ▲中心となる語や文を見付け、文章を要約する力に課題がある。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと・聞くことでは、必要なことを考え、大事な言葉をもらさずメモを取る力、自分の考えを端的にまとめ分かりやすく発表する力。 ・書くことでは、文章を適切に区切り、接続詞などを用いて伝えたいことをより分かりやすく書く力。 ・読むことでは、中心となる語や文を見付け、文章を要約する力。叙述から登場人物の気持ちを想像する力。
	具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと・聞くことでは、他教科（社会科や総合的な学習の時間）で、メモをとる機会を増やす。 ・書くことでは、伝えたいことと主述を明確にし、詳しく具体的に書くように指導する。 ・読むことでは、調べ学習などで、要約して作品をまとめる活動を取り入れることや、ワークシートなどを工夫する。また、対話的な活動を増やし、他者と考えを交流することで、読みを深める活動を取り入れる。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと・聞くこと力を付けるために、メモを取ったり、聞き取ったことを箇条書きにしたりすることで、伝えやすくなる活動をさせた。しかし、聞くこと、メモすることの同時進行に課題があり、今後も練習が必要である。 ・書くこと力を付けるために、事前に構成表や定型文を提示した。それを基に作成し全体の構成を完成させた上で、清書することが8割ほどの児童ができるようになった。 ・読むこと力を付けるために、物語文では「登場人物の心情」が分かる叙述を読み取ることで、それぞれの登場人物の心情を捉えることが課題である。また、段落の前後の内容に着目し、説明文の構成を意識した読みを行うことが課題である。そのため、登場人物の視点と、周囲の視点での場面整理をしながら、必要な情報を明確にさせてまとめさせる。
令和5年度 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	
令和6年度 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	

授業改善推進中期プラン 算数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立玉川小学校

学年等	項目	内容
令和4年度 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童は、落ち着いて学習に取り組んでおり、新しい学習内容、単元にも興味をもって取り組んでいる。 ○東京ベーシックドリルの3年診断テストで、9割以上が基本的な分数の加減ができる。 ○友達の見解に付け足したり、数学的表現をしたりしようとする児童が多い。 ▲定着度合いの2極化が出始めている。定着度の低い児童は、特に「わり算の筆算」「概算」の学習に課題がある。 ▲東京ベーシックドリルで、円を利用した三角形の作図は4割しかできていない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数の仕組みや計算の決まりを理解し、確実に計算する力。 ・課題を意識した上で、長さや角度を測ったり、正確に作図する力。 ・生活の事象から算数の問題を見出し、数学の良さを生かして解決する力。 ・与えられた問題から課題をつかんだ上で、自力解決し、図・式・言葉を用いて表現する資質・能力。
	具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて具体物などを用いたり、生活の中から題材を見付けたりして、具体的に理解させる。 ・既習事項を生かせる課題を提示し、自信をもって自力解決できるように支援する。既習事項が身に付いていない児童には、必要に応じて復習問題に取り組ませる。 ・単元の始めと終わりには、学習を振り返る時間を確保する。 ・各時間内にも、習熟の時間を確保し、類似問題や発展課題に取り組ませる。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリル診断シート等を活用し、下学年に戻って計算問題を解くことで、8割の児童が正確に計算できるようになった。 ・正しく表を読み取ったり、作図したりする際に、定規、分度器、三角定規を正しく扱えるよう、作図する場を設定した。しかし、作図する場面では、定規がずれてしまい、直線が曲がってしまう児童がいたため、引き続き丁寧に作図することの指導を続けていく。 ・クラス全体で文章問題を読み解き、問題の重点を児童同士が教え合う場を設定することで、正しく立式したり、計算したりすることができた。 ・友達の発表を聞くときには、自分の考えと比較して、どのような共通点と相違点があるのかという視点をもたせる。
令和5年度 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	習熟度別少数指導における具体的な取組	
第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題		
令和6年度 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	習熟度別少数指導における具体的な取組	
年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	